



北日本造船所の見学に向けて

今から1万5000年物の縄文時代の人も、すでに船(舟)を作り、海を渡っていたことが分かっています。大昔から人類は、海と深く関わって生きてきたのです。八戸は、海がもたらす恵みで育ちてきた港です。イカ、サバの水揚げも日本有数です。津軽市産も豊富です。大型船も入港し、外国からの物資もたくさん輸入しています。その物資を活用した工場もたくさん建っています。

その工場の一つが、「北日本造船所」です。世界から見注を受け、大型輸送船を建造しています。昔のかたまりの船をどのように作っているのでしょうか？面白いのかたまりがなぜうのでしょうか？いろいろ調べていきましょう。

今日は、北日本造船所で作成した会社紹介のDVDを視聴してもらいます。その後、疑問に思ったこと、聞いてみたいこと等があったら、書き出しましょう。

5年 / 組 名前

- DVDを見て、はじめてわかったこと、聞いたことがありますか。

北日本造船所はおもにケミカルタンカーという船をつくらせていて、外国からも船の部品をそろえていてすごいなと思いました。

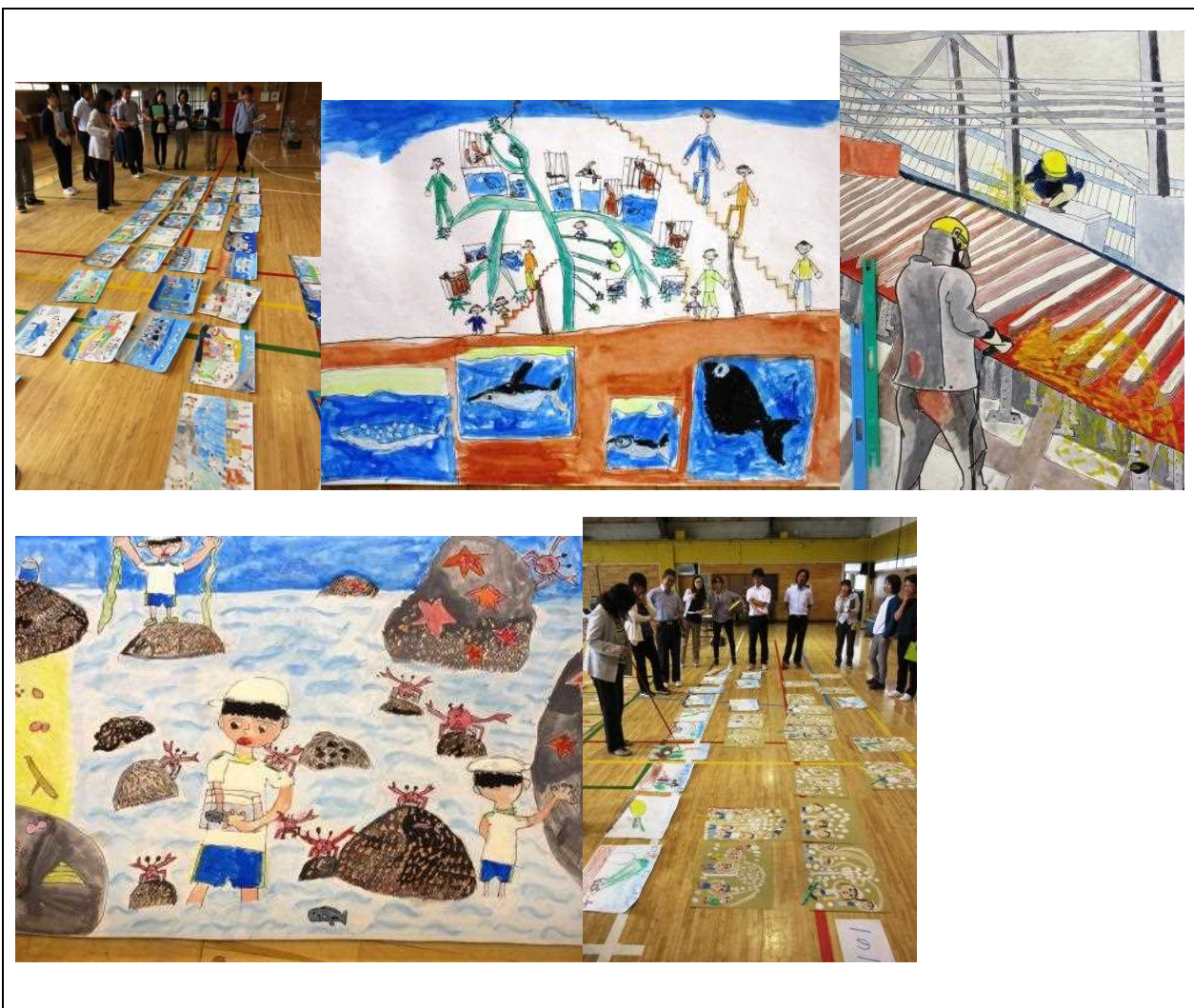
- 疑問に思ったこと、質問したいことはありますか。

・やくひんがもれたりしたとどうするんですか。
 ・船をつくらせてから、うんでんしてそのとききかいておろすのってどうします。

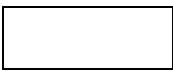
- 6月4日に見学に行きますが、何を覚えていますか、見てみたいことはありますか。

・船をつくらせていて、
 ・どうだ、てどんな場所で、はたしているか

学校名	八戸市立小中野小学校
タイトル	造船所見学～海を活用する～
コメント	<p>本校の隣の学区に、ケミカルタンカーを建造している北日本造船所がある。子どもたちは校舎の窓から、大型クレーン等のある造船所を遠くから眺めてきた。海洋教育パイオニアスクール校の指定を機に、造船所の見学を通して、海を活用する造船や海運について学習することにした。見学は6月4日に実施したが、事前学習(北日本造船所の会社概要を説明したDVD視聴)を行い、質問事項や見学したい作業等をワークシートに記入させた。見学後には、絵日記や作文を書かせ、振り返り学習も取り入れた。このように、事前・事後もしっかり取り組ませることにより、海洋教育のよさが実感できるようになる。</p>



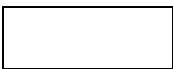
学校名	八戸市立小中野小学校
タイトル	海に親しんだ体験を絵に表そう
コメント	<p>2年生は水産科学館の見学、3年生は遊覧船体験、5年生は磯遊びや造船所見学等、実物を見学したり、船に乗ってウミネコや周りの景色を見たりした感動や思いをしっかりとらせ、絵に表しました。魚と触れ合ったり、楽しかった磯遊びの感動が、それぞれの絵に表現されています。</p> <p>海洋教育において、海に親しんだことを描画に表現させることは、子どもたちの豊かな発想、情操教育的にも大事なことです。</p>



学校名	八戸市立小中野小学校
タイトル	津波高台避難訓練と津波出前授業～海を知る～
コメント	<p>本校は海拔4mの学校であるが、津波注意報発令時、学校が津波避難ビルの指定になっている。大津波警報が発令された場合は、吹上地区(25m)へ高台避難しなければならない。5月に年1回、全校高台避難訓練を実施している。</p> <p>しかし、なぜ交通事故等にあうかもしれないのに、歩道を数十分かけて歩き、避難しなければならないのか、よくわからない状態であった。そこで、海洋教育の一環として、津波の専門家(連携大学：八戸工業大学)を招へいし、津波の発生メカニズムや恐ろしさ等について出前授業という形で児童に学習させた。津波のモデル実験を通して、津波の速さを実感させ、いち早く逃げるのが大事であることを理解させることができた。海洋教育は、自分で自分の命を守る教育でもあることが分かった。関係機関との連携の意義も実感できた。</p>



<p>学校名</p>	<p>八戸市立小中野小学校</p>
<p>タイトル</p>	<p>全校海洋遠足～海から八戸の街を眺めてみよう～</p>
<p>コメント</p>	<p>9月13日の午前、全校児童342名が、2カ所の遊覧船（シャーク号・うみねこ号）に乗船し、海から自分たちが住んでいる地区や街を眺めるという海洋遠足を実施した。午後は、1年は水族館見学、2年は三陸復興国立公園内の環境省施設見学、3年は種差海岸遊歩道散策、4年は水産加工場の見学、5・6年は港湾内にある三菱製紙工場の見学を行った。特に、5年生は、国土交通省八戸港湾・空港事務所の職員が乗船し、八戸港の特色を解説してもらい、社会科学習との関連を図ることができ大変有意義な体験学習となった。他の学年の振り返りの日記や作文の中には、「八戸のよさを再認識した」「みる所がいっぱいある素晴らしい町だ」などの感想が寄せられていた。</p>



学校名	八戸市立小中野小学校
タイトル	八戸の魚介類を調理しよう、味わおう
コメント	<p>9月23日、午前11:00~12:00、本校駐車場スペースにおいて、7月に予定(地引網体験学習)していた事業の代替体験活動を実施した。地引網漁で獲ることができたであろう魚介類を、種差漁業生産部会の漁師に依頼し、「八戸の魚介類を調理しよう」という体験学習を、3年児童40名・保護者、4年児童72名・保護者、約250名の参加を得て実施した。</p> <p>当日は、種差漁港にあがったタコ・カニ・ヒラメ・サケを持参してもらった。親子で一緒に「サケのちゃんちゃん焼」と郷土料理の「いちご煮」づくりを行い、八戸の魚介類の味を堪能できた。</p>



学校名	八戸市立小中野小学校
タイトル	海洋遠足で楽しかったことを絵に表わそう
コメント	<p>今年度、海洋教育パイオニアスクールプログラムに取り組み、海とかかわる様々な学習や体験活動を行ってきた。学習のまとめや振り返りは、作文という形でも行うが、絵日記や絵画に表現させることも行ってきた。</p> <p>今回、「平成30年度 MOA 美術館八戸地域児童作品展」に海洋遠足をテーマにした絵画を出品した。その結果、左の3年児童の作品は、「八戸市長賞」、右の5年児童の作品は、「八戸市教育委員会教育長賞」を受賞した。さらに、海にかかわる絵画作品が認められ、学校として「団体優秀賞」を受賞することとなった。</p> <p>表彰式は、10月20日11:00～ラピア2Fラピアホールにて実施予定。</p>